

今回の体育部報では、今年度新たに体育部に仲間入りした新任の先生方に、ここまでの経験を通して思っていることをまとめていただきました。

### 『最高の経験』

岡崎市立城北中学校 安藤 綾真

教師としての新生活が始まり、毎日の授業などを必死に行う日々でした。ここまであっという間だった気がします。

授業では、生徒がどうしたら意欲的に、そして多くの学びを得られるのかを常に考えて授業をしていますが、失敗ばかりで「授業をするのが辛い」と感じることもありました。しかし、指導担当の先生や周りの先生方のご指導を受け、試行錯誤を繰り返しながら乗り切ることができました。

そんな自分のやりがいの一つになっているのが部活動です。ソフトボール部の生徒は個性がとても強いですが、優しく、親切心のある生徒ばかりです。一生懸命上手くなろうと頑張っている姿にいつも元気をもらっています。そんな生徒とソフトボールをすることが、自分にとって充実した時間になっています。

特に3年生は、一緒にソフトボールをしたのはたった半年程なのに、大きく成長する姿を見ることができました。その理由は、何といても全国大会に出場できたことです。

全国までの道のりは厳しく大変でしたが、全国に出場できた1番の要因は、生徒の「心」の強さだと思います。何度も絶体絶命のピンチを迎えましたが、その度に自分が持っている力を最大限発揮し、そのピンチを乗り越えてきました。部活動で1番重要なのは、「技術」を磨くことでも「体」を鍛えることでもなく、「心」を育てていくことだと改めて実感しました。全国大会は2回戦で敗退してしまいましたが、その時の生徒の顔は「やり切った」という晴れやかさでいっぱいでした。

この城北中ソフトボール部での経験は、生徒にとって一生忘れない宝物になったと思います。また、自分にとっても一生忘れることのできない宝物になりました。ソフトボール部の生徒に出会えたこと、一緒にソフトボールができたことに感謝しています。1年目からこんな経験をすることができて、とても幸せです。

この経験を生かし、「心」を育てていくことを第一に、部活動での経験がその生徒にとっての宝物や財産になるように、これからも指導に取り組んでいきます。



## 『共に学ぶ』

岡崎市立山中小学校

渡瀬 祐花

「運動することは苦手だけど体育は好き」と言える子供を育てるため、「運動嫌いを減らす体育の授業」を目標に、日々実践してきました。しかし、その気持ちとは裏腹に1学期は上手くいかないことが多く、怪我をする子供がいたり、うまくできなくて泣いてしまう子供がいたり、このままでは運動嫌いが減るところか、運動嫌いが増えてしまうのではないかと思うような授業が多くありました。

先日まで行っていたキックベースでの授業でも、初めは楽しそうではない子供が多く見られました。原因はルールがわからないこと、何をすればよいのかわからないこと、どのように動けばよいのかわからないことでした。

そこで、まずは子供に誰もが参加できる簡単なルール作りをさせました。子供が振り返りのときに書いた意見を次の授業に反映し、子供が自分たちの力でルールを改定して、ミニゲームを行うことにしました。すると、まずは野球を習っている子供が中心となって、チームの子供同士でルールを教え合うようになりました。さらにミニゲームを繰り返すと、チームでできることや作戦を考えたり、協力したりする姿が見られるようになりました。授業の振り返りでも、「ピッチャーにボールを返すと、ランナーが止まるルールを生かしてプレーできたことが楽しかった」、「進塁することができてうれしかった」といった前向きな感想が多くなり、「チームでもっと協力して守備をすればよかった」、「今度はチームで蹴る練習をしたい」と高め合おうとする姿を見ることができました。

各チームが自分たちで一人一人の役割を考え、目標に向けて取り組むことで全員がチームの一員であるという自覚をもち、主体的に活動することができたのだと感じます。

子供の中には、それでも運動が苦手な子供がいます。そんな子供の目線に立ち、一人一人の子供に寄り添い、子供が楽しめるように考えることで、苦手でも体育が好きな子供が増えていくのだと感じました。今後も「運動嫌いを減らす体育の授業」を目標に、また、体育に限らず全ての教科においても、子供に寄り添い、「共に学ぶ」姿勢で勉強は苦手でも、授業が好きな子供を育てていきたいと思えます。



### 第1回 自主研修会について

11月5日（金）に岡崎市総合学習センターで「第1回 体育部自主研修会」を開催しました。今回の自主研修会では、竜南中学校の松本良太先生と六ツ美北部小学校の中野翔太先生を講師にお招きして、論文の書き方について学びました。

感染症対策として、45名の参加者を小学校と中学校に分けて開催しました。教育論文をまとめるポイントを分かりやすく教えていただきました。

体育について語り合う貴重な機会となりました。講師の先生方、ありがとうございました。

